

既設コンクリート構造物の予防保全を目的とした調査・診断・補修に関する研究委員会

第1回 WG3（手順書作成） 議事録（案）

■日時：2018年6月29日（金） 16:00～16:40

■場所：JCI 本部会議室

■出席者：位田，遠藤，堤，野島，湯地，田中（記録）

■欠席者：上田

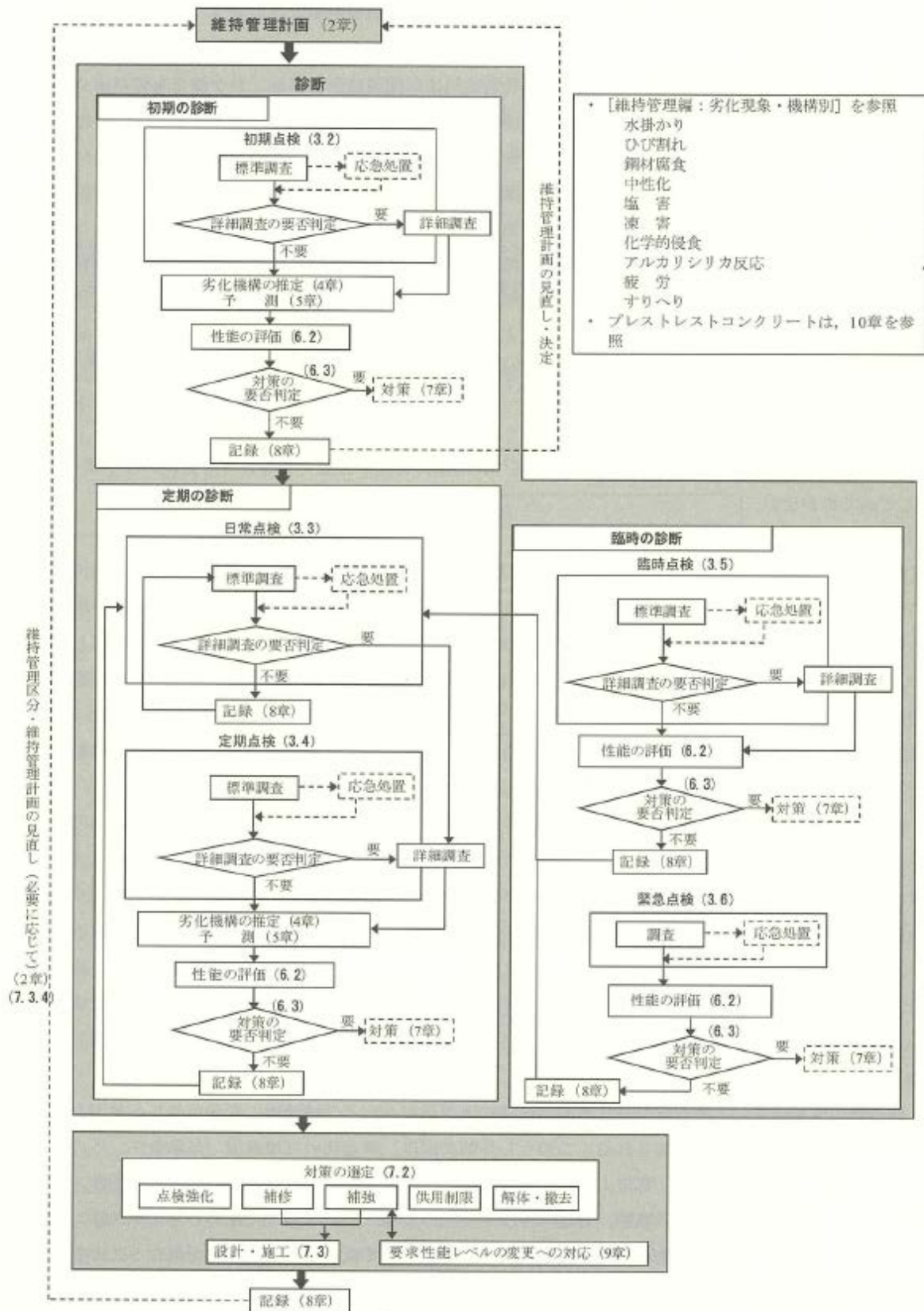
■議事

1. WG3 の検討内容の確認

- ・最終成果は既設コンクリート構造物の予防保全に関する手順書の作成であるが，WG1 および WG2 の検討結果を待っていると時間がかかるので，WG3 独自での検討を進める。
- ・進め方としては，まず，既存にある事後保全を対象とした維持管理の手順のフロー（例として，2013 制定土木学会維持管理編のフローを次ページに示します）に対して，予防保全を実施する場合のフローを新たに追加することを検討する。
- ・予防保全を追加した維持管理の手順フローがある程度完成したら，ある想定した構造物に対して事例研究を実施し，いくつかの維持管理のシナリオを作成してライフサイクルコストを算出して比較検討を行う。

2. おおよその今後のスケジュールは下記の通り。

- ・7月～8月：委員各自で予防保全を追加した維持管理の手順フロー案を作成。参考にするフローは特に制限しない。作成したフロー案は，8月27日までにメールにて送付する。
- ・8月末（土木学会年次大会）：集まれる WG メンバーで，提案されたフロー案を確認して追加，修正などについて議論する。
- ・9月～10月中旬：フロー案の第2次案を各自で検討する。
- ・10月中旬：第2回 WG3 を開催。各メンバーから第2次フロー案に関して議論し，予防保全を考慮した維持管理の手順フロー案の WG3 案を作成する。
- ・10月中旬～12月：可能な範囲において，想定した構造物に対してフロー案に沿ってケーススタディを行う。
- ・12月：幹事会にこれまでの検討内容を報告
- ・2019年1月～6月：WG1，WG2 の成果を受けてフロー案の追記修正の検討，事例研究の実施
- ・2019年7月～11月：報告書作成（手順書の作成）
- ・2019年12月：報告書（1次ドラフト提出）



解説 図 1.1.1 標準的な維持管理の流れ

以上